

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ウ	安全・安心に暮らせる地域づくり	施策	①安全・安心な生活の確保と警察活動の強化
			施策の小項目名	○治安について著しく不安を与える犯罪等への対応強化
主な取組	サイバー犯罪対策事業		対応する成果指標	特殊詐欺認知件数
施策の方向	・犯罪発生数は一定数減少しているものの、県民の安心感を更に向上させるために、治安について著しく不安を与える犯罪、社会情勢の変化に伴って多様化する特殊詐欺、サイバー空間の脅威、薬物犯罪、国際テロ等の犯罪への対応強化に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
インターネットが社会・経済の根幹を支えるインフラとして機能している一方で、サイバー犯罪は手口が悪質・巧妙化しながら増加している。県民が安全で安心してインターネットを利用するために、各種資機材を整備し、サイバー犯罪の検挙活動を推進するもの。	県	県民のサイバーセキュリティ意識の向上			
		サイバー犯罪に係る防犯講話の実施回数(累計)			
		570回	585回(1,155回)	600回(1,755回)	
担当部課【連絡先】	県警本部生活安全部サイバー犯罪対策課	【	】	関連URL	—

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

R4年度				R5年度		
予算事業名	サイバーセキュリティ対策			予算事業名	サイバーセキュリティ対策	
主な財源	実施方法	R3年度決算額	R4年度決算見込額	主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	15,701	21,921	県単等	直接実施	28,536

令和4年度活動内容

各種解析用資機材を整備し、サイバー犯罪の捜査及び情報技術解析を支援したほか、企業への職員派遣、各種研修等を実施した。

令和5年度活動計画

引き続き、各種解析用資機材を適切に整備し、サイバー犯罪の捜査及び情報技術解析の支援し、研修等の充実により職員の対処能力向上を図る。

活動指標名	サイバー犯罪に係る防犯講話の実施回数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		605回	472回	531回	570回	93.2%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

コロナ禍の情勢下、感染症対策を万全にした上で、サイバー犯罪の被害抑止に向けた防犯講演を実施し、前年比で約12%増加するなど、コロナ禍以前の水準に近づいており、サイバー犯罪の未然防止に効果を発揮している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察官のサイバー犯罪等対処能力の知識技能に応じた教養を推進するため、最先端情報技術を扱う民間企業への派遣を推進すると共に、人材育成の教養資機材の充実を図る。</li> <li>・産学官の各関係機関との情報共有を図り、サイバー犯罪被害防止の未然防止を図る。</li> <li>・企業向けサイバーセキュリティセミナーや広報啓発活動を実施し、中小企業等のサイバーセキュリティ対策の意識向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウイルス罪等が発生した際に、整備した各種資機材を活用して捜査を実施し、被害拡大防止のための助言等を行った。</li> <li>・県内金融機関との防犯連絡会議及び県内プロバイダ等と協議会を開催し、新たなサイバー犯罪の手口等の情報共有を行った。</li> </ul>

3 取組の検証 (Check)

類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	高度サイバー犯罪に対処するための資機材の不足しているほか、それら資機材を活用できる捜査員等の育成が必要である。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	サイバー犯罪が悪質化、巧妙化しているうえ、攻撃の激化による被害の拡大が懸念される。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	情報セキュリティ対策の遅れている中小企業を狙ったサイバー犯罪の増加が懸念される。

4 取組の改善案 (Action)

類型	内容
① 執行体制の改善	解析用資機材の整備の推進及び高度な解析ができる捜査員等の育成する。
⑧ その他	解析用資機材等活用したサイバー犯罪取締りの推進し、被害発生時には状況を把握し、早急な広報等を実施することにより、同種事案の被害拡大防止を図る。
② 連携の強化・改善	県内関係機関とサイバー犯罪の手口等の情報共有など連携を図り、サイバー犯罪被害の未然防止を推進する。